

# Bangladesh 企業訪問調査レポート[5]:

## Ispahani Islamia Eye Institute and Hospital Bangladesh (IIEI&H)

～ 病院、NGO ～

### ■ バングラデシュ人民共和国 — 基礎データ —

- 面積: 147,570平方キロメートル
- 人口: 1億5,360万人 (2012/13年度 バングラデシュ中央銀行)
- 首都: ダッカ／人口約1,188万人 (2011年 統計局推定値)
- 名目GDP総額: 1,738億1,800万ドル(2013年)
- 1人あたりのGDP(名目): 904ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 6.1% (2013年)
- 為替レート: 1ドル≒ 77.72 バングラデシュタカ (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「バングラデシュ概況(2015年2月更新)」



■ 調査日 : 2014年 11月13日

■ 分野 : 病院、NGO

■ 特徴 : Ispahani Islamia Eye Institute and Hospital Bangladesh (IIEI&H)は眼科の総合病院で、バングラデシュ全土から毎日1,500人の患者が訪れる最も古い病院の一つ。眼科の総合診療にあたるとともに、眼科医師や上級救急救命士などの教育訓練も併せて行っている。設立当初は慈善診療所として開業し、間もなく国内では初めての眼科病院に発展した。同国では、全ての所得層の患者を受け入れる病院は稀であるが、IIEI&Hは非営利機関として、全ての人々に対し差別なく可能な限りの診療を行うことを心掛けている。

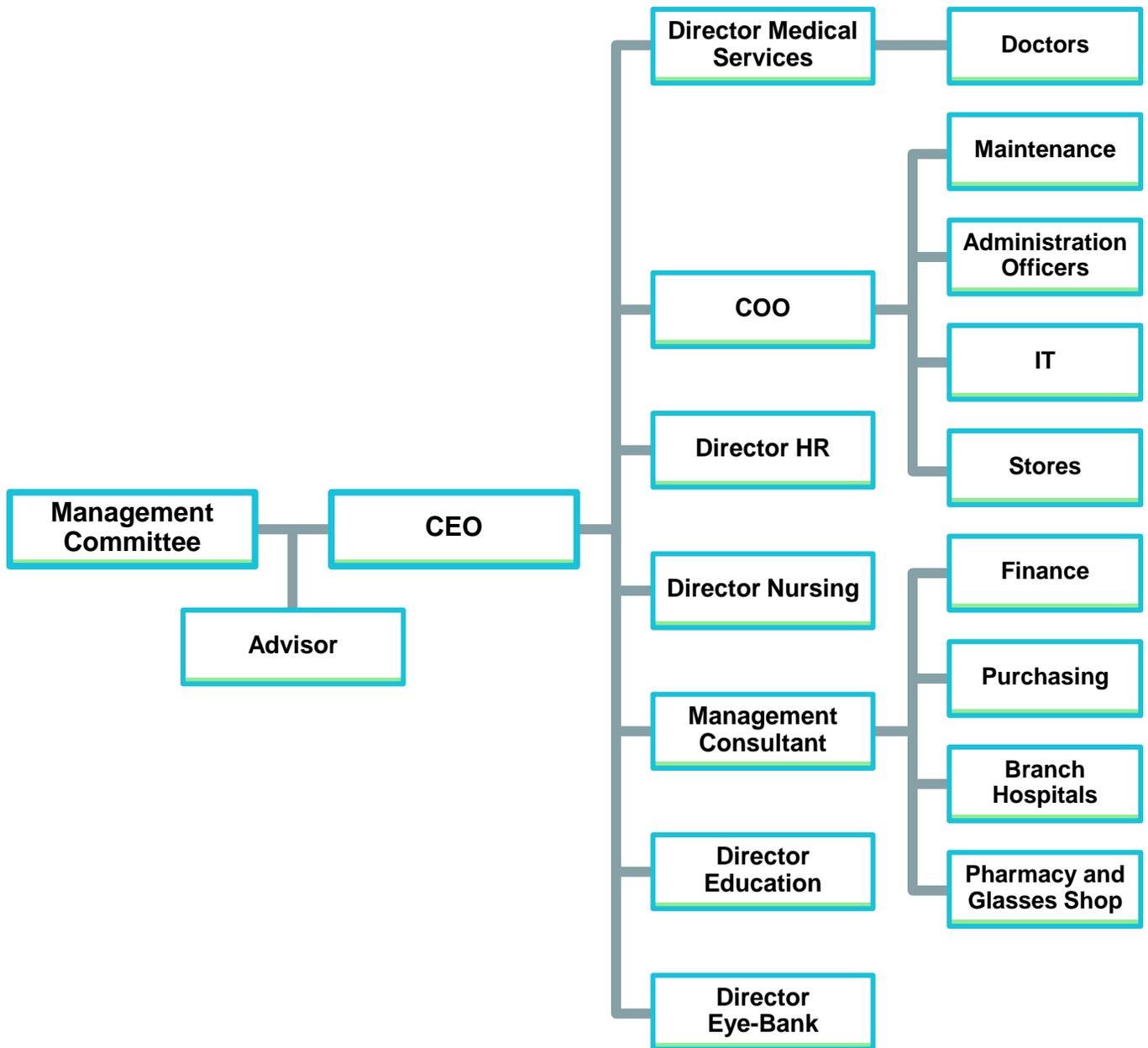
### 組織概要



### Ispahani Islamia Eye Institute and Hospital Bangladesh

- 名称 : Ispahani Islamia Eye Institute and Hospital Bangladesh (IIEI&H)
- 住所 : Sher e Bangla Nagar, Farmgate, Dhaka 1215, Bangladesh  
(ダッカ本院のほかジャマルプール、ナオガオン、バリサル3県に支院がある)
- URL : <http://www.islamia.org.bd/>
- 設立年 : 1960年
- 代表者 : M.A. Behrouzelspahani
- 職員数 : 642人(ダッカ548人、ジャマルプール31人、ナオガオン27人、バリサル36人)
- 敷地面積 : 本院12,000m<sup>2</sup>、各支院4,000m<sup>2</sup>
- 活動理念 : 患者を第一に考え、誠実さと透明性を旨とし、組織を挙げて横断的に協力する。
- 活動方針 : 最良の眼科診療を全ての階層の人々、特に診療費の支払い能力がない人々に提供し、治療により避けることの出来る視力喪失等眼科障害と戦う。
- 活動内容 : 眼科診療・手術、医療人材教育、研究



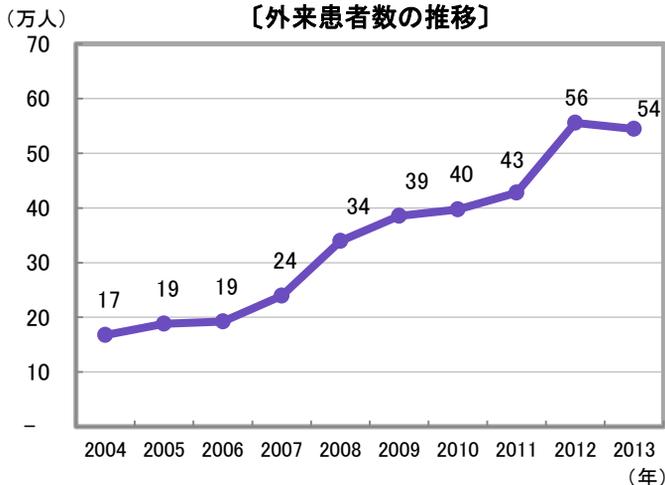


### IIEI&Hの特徴

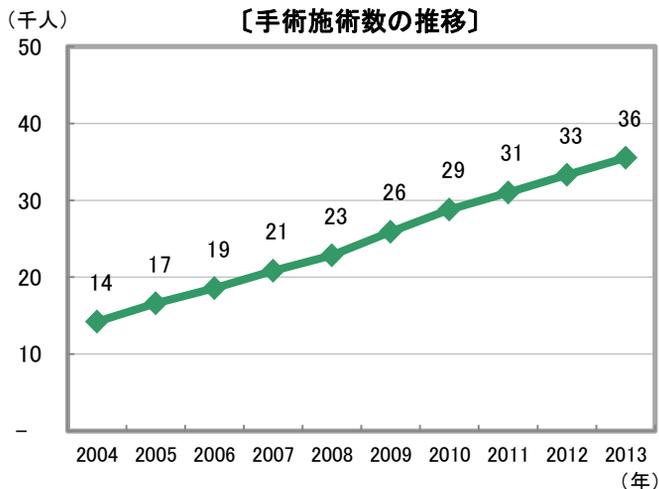
- 教育機関としての機能を持ち、院生や訓練生に医師や看護師等としての眼科教育を実施。フェローシップ・プログラムにて海外からの訓練生を受け入れている。
- 面談で患者の医療費負担能力を判断し、必要に応じて無料診療を実施。無料であっても、病室等が異なるだけで、診療の質は変わらない。
- 全ての眼科疾病をカバーする総合医療体制をとっているため、扱いきれない患者を抱えた他の病院がIIEI&Hを紹介している。
- 同院の医療活動を改善するため、国内外の団体との協力を意欲的。

診療実績の推移

〔外来患者数の推移〕



〔手術施術数の推移〕



横断的な助成のしくみ：Cross-Subsidization

支払い能力のない患者へ無料診療を行うための基金は、支払い能力のある患者からの診療費収入で捻出している。IIEI&HではこれをCross-Subsidizationと呼んでいる。この助成方法を実施するため、自己申告により患者を支払い能力に応じて三つのカテゴリーに分類している。どの分類に属しても診療の質が落ちることはなく、違いは病室等の待遇のみとなっている。

● 個人患者

中流所得層以上の患者。割増料金を支払う代わりに特別待遇が与えられる。この診療費収入が、事実上貧困層患者の診療を支えている。

● 一般患者

貧困層以上の中・低流所得層。支払い額は家計上可能な範囲にとどめられる。上質の待遇を受けるが、病院運営を支えるため診療費に若干の額が上乘せられる。一方、支出可能な範囲での支払いとなるため、決められた額を払いきれない患者は助成を受ける場合もある。

● 無料患者

診療費支払い能力のない貧困層の患者。無料で質素な待遇となるが、最新の診療を受けることができる。

〔患者分類ごとの診療人数〕

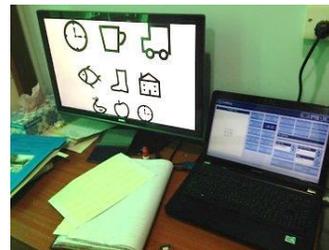
| 患者の分類 | 年間来院数   | 年間手術数  | 来院総数に占める手術の割合 | 運営経費カバー率 |
|-------|---------|--------|---------------|----------|
| 個人患者  | 100,000 | 6,000  | 20%           | 50%      |
| 一般患者  | 250,000 | 15,000 | 50%           | 50%      |
| 無料患者  | 150,000 | 10,000 | 30%           | 0%       |
| 合計:   | 500,000 | 31,000 | 100%          | 100%     |

Cross-Subsidization システムが成り立ち、病院運営を可能にし、貧困層に対して心のこもった無料診療を行うためには、個人および一般の有料患者数が予想を下回らないことが前提となる。そのためには、支払う金額に見合った満足できる医療サービスを個人および一般患者に対して行わなくてはならず、優れた技術の治療を行うだけでなく、中流以上の所得層に相応しい病室等設備や医療機器、救急車を備えなければならない。加えて、高度な訓練を受けた医師や、効率の高い事務局体制を更に育成、整備し、拡大していく必要がある。

## 診療活動状況 ②

## Cross-Subsidization を機能させるための取り組み

- 国際水準への診療・設備水準引き上げ
- 個人患者専用の外来セクションと個人患者専用病棟の設置・・・中流以上の患者の期待を上回る施設
- 国際水準の施術室設置
- 眼科医療技術教育のセンターとなること  
・・・拡大縮小自由な最新の多目的講堂と教室の設置
- 専任のフルタイム医師の雇用



## 診療までの手順と負担診療費

下記の患者券(診察券)を患者の判断で選び購入する。  
(1カ月以内の受診回数に制限なし)

個人患者券:500タカ

その他の患者券:20タカ

面談にて、  
診療費分類を決定

## 個人患者:

検査費用、手術代、薬代、眼鏡その他の費用は患者負担となる。

## 一般患者:

検査費用を一部負担。  
手術、薬、眼鏡等の費用は、必要な場合助成される。

## 無料患者:

無料で診療を受ける。

## 患者の分類による病室および受付の違い

## 個人患者:



トイレ・エアコン付きの専用病室(1人部屋)  
3食を含み1,500~5,000タカ/日



専用受付

## 一般・無料患者:



一般および無料患者用病室(相部屋)  
3食を含み0~200タカ/日

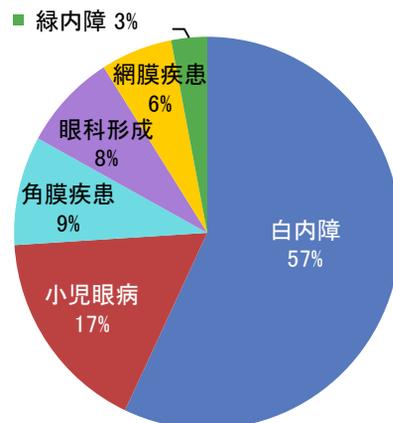


一般および無料患者用受付

### 病症名別の手術の内訳 (2011年)

白内障手術が最も多く、次いで小児眼病となっている。院長によれば、来院患者の80%が白内障の症状を持っており、年齢や環境その他の要因によるとしている。

【病症名別の手術の内訳(2011年)】



### IIIEI&Hにおける課題と取り組み

- 医師のほとんどがダッカを離れて地方に行くのを嫌がるため、支院に医師を派遣することが困難。そのため住宅の確保やプロモーションなどに努めている。
- 年を追って来院患者が増え、受け入れが困難となってきており、施設拡張のための寄付金提供元を探している。
- 貧困層の知識不足が診療を妨げている。眼疾患の重大性を認識しておらず、また、診療費無料の代わりに眼を取られるのではないかと病院に来ることを怖がる。
- 貧困層患者を受け入れている病院に通うことを中所得層以上の患者が嫌うが、受付と病室を分けた結果、個人患者が増えた。
- 所得を偽って無料で診療を受けようとする患者がいる。これを防ぐため、幾つかの質問を行って真偽を見分けるよう努めている。

### その他の競合団体

設立当初は競合する団体はなかったが、現在はUnited、Square、そしてApollo等の病院が高所得層の患者を対象に高度な眼科診療を行っている。しかしIIIEI&Hでは、それらの病院も眼疾患に苦しむ人々を助けるという、同じ目的に取り組んでいるとして、競争相手とは考えていない。むしろ、それらの病院が扱いきれない患者に対し、IIIEI&Hを紹介してくれる存在となっている。

### 協力・寄付団体

現在IIIEI&Hでは、医学生と医師の教育のためインドにある3つの眼科病院に派遣する一方、国内病院から看護師や医師の教育を受け入れている。

IIIEI&Hはどの団体にも属さない独立した組織だが、他団体の寄付・支援は歓迎している。寄付はIIIEI&Hの定める規定に沿って、または最新眼科医療機器の提供を受けたり、施設拡張のための資金、あるいは医師の教育を受け入れてもらうなどの形をとっている。日本大使館からも、新設した総手術室の消毒機器の提供を受けている。またIIIEI&Hは個人の寄付を以下の4つのカテゴリーに分類している。

| 個人による寄付のカテゴリー              | 寄付金額      |
|----------------------------|-----------|
| Platinum Supporters        | 500万タカ以上  |
| Gold Supporters            | 60～500万タカ |
| Silver Supporters          | 10～60万タカ  |
| Sight Restoring Supporters | 10万タカ以下   |



スタンダード・チャータード銀行の寄付によって2003年に新設した小児用病室



西ダッカロータリークラブから寄付を受けたモニター付き麻酔・人工呼吸機器

### 今後の計画

- バングラデシュ国内のモデル病院となり、国際会議の場や国際的な種々団体と協力し、その水準を国際的に広める。
- 現状ではスペースに限りがあり、患者にとって快適とはいえないため施設を拡張する。また、地方の支院は賃貸のスペースに入居しているため、自院施設を持つために寄付団体を探している。
- 農村部での診療を拡大するため、IT技術による遠隔診断システムの導入を計画している。現状では医師や看護師等が巡回し、住民に対して眼病への啓発と無料診察を行っており、疾病が認められた場合病院に行くことを指示している。遠隔診断が出来れば、診断をさらに拡大することが出来る。

### 日本への期待

日本からは、教育のための医師受け入れや日本国内における会議等への招聘など、これまでもプロジェクトベースで協力を受けており、今後も継続を希望すると共に、最新技術の提供でIIEI&Hの医師への鼓舞を希望している。併せて日本人医師や医学生を教育のため受け入れる用意があるとしている。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。